

ダウンチューブ ヘルメットホルダー
フレームクランプタイプ(φ38)
<商品番号 HD-05142 >
【取扱説明書】



注意

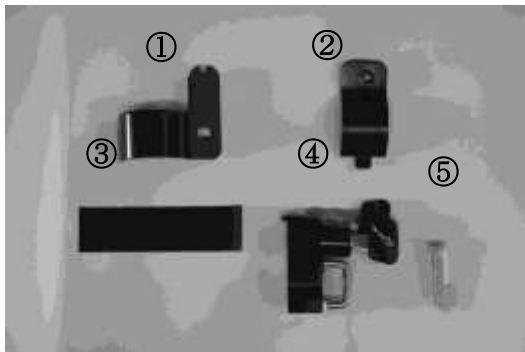
取付け前に必ずお読みください。

このたびは、当社製商品をお買い上げいただきありがとうございます。
 本製品は以下のことをご理解のもと作業していただきますようお願い申し上げます。
 作業にあられる方は本体車両メーカーのサービスマニュアルに準ずる知識及び技術を持った方に限ります。

- ・取付け前に商品構成の内容を必ずご確認ください。
- ・道路交法・道路運送車両法を厳守する。
- ・運行前点検及び、定期的な保守整備を行う。
- ・本取付け説明書に則った取付けを行う。
- ・本製品への加工を加えない
- ・不具合が発生した場合速やかに使用を中止する。

以上の事柄を必ずお守りください。

万が一、商品に不備があった場合は、取付けを行わないでください。
 上記が守られていない場合、商品への保証は一切いたしません。
 また、株式会社キジマは本製品にのみ責任を持つものであり、本製品の品質以外（修理費、取付工賃等）どのような事柄に対しても責任を負いかねますのでご了承ください。



《部品構成内容》

部番	品名	個数
①	クランプステー	1
②	クランプ	1
③	ラバープレート	1
④	ホルダー本体	1
⑤	皿ボルトM6×45	1

..... **本製品取付け・ご使用に当たっての注意点**

- ※本製品は06年以降ダイナモデルのフレームダウンチューブ部（パイプ径φ38）にクランプして使用するヘルメットホルダーです。
- ※本製品にヘルメットを掛けた状態での走行は危険ですので絶対にしないで下さい。
- ※本製品は一時的にヘルメットを掛けるものです。防犯上、長期間ヘルメットを掛けておくのは避けて下さい。
- ※本製品の取付けは、ヘルメットを掛けた時にエンジンや車体に干渉しても影響の無い位置に調整して取付けて下さい。怠ると車体の突起物や熱によりヘルメットが破損、変形する恐れがありますので必ず実行して下さい。
- ※作業の前にエンジンやマフラーが冷えている事を確認して下さい。走行直後などでエンジンやマフラーが冷えていない状態で作業を行うと火傷の原因となり大変危険です。
- ※作業中は、必ずメインキーをOFFにする事。車体が倒れたりして危険ですので、作業は水平な場所で車体を安定させて行う事。純正部品の取外し/取付け、ボルト/ナットの締め付けについてはメーカー発行サービスマニュアルに基づいて、確実に行ってください。
- ※走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、異常箇所を点検して下さい。
- ※安全快適なライディングの為に、定期的にし締めするなどの点検整備を必ず実施して下さい。
- ※取り扱い説明書は大切に保管し、本製品もしくは本製品を装着した状態で車両を譲渡などする場合は、この取り扱い説明書も一緒にお渡し下さい。

<取付け方法>

※本文中や図中に出てくる丸囲み数字は前ページの部品構成内容表の部番に対応しています。



●本文中での取付けモデルは06年FXDL、車体左側ダウンチューブに取付けた際の説明をしています●

- 1 始めに、ヘルメットホルダーをフレーム部（φ38の箇所）に取付ける為の場所を決めます。
- 2 クランプステー①クランプ②を組合わせ（以下クランプ Assy）ラバープレート③をフレームとクランプ Assy の間に挟み込み車体に組合わせます。ホルダー本体④をクランプ Assy に取付け、ボルト⑤を使用して固定します。
（写真A/B/C参照）
※取付けの際、クラッチケーブルが作業の妨げになる場合は車体クラッチケーブルホルダーを取外して作業して下さい。
- 3 ヘルメットを取付け、必要に応じヘルメットホルダーの位置の調整を行って下さい。最後に各部のネジやナット類の増し締め点検を行い作業完了です。
（写真D参照）

●使用上の注意●

- ※ スペアキーの販売はしておりません。付属キーは別々に保管、紛失にはご注意下さい。
- ※ ヘルメットの位置や、取付状態の確認を怠り取付け後、ヘルメット本体が破損等した場合の弊社での補償等は、一切お受けできませんので御了承下さい。

モーターレク総合開発メーカー

株式会社

キジマ

MOTORCYCLE PARTS&ACCESSORIES KIJIMACo, Ltd. www.tk-Kijima.co.jp

〒123-0841 東京都足立区西新井 4-16-3 TEL.03-3897-2167 FAX.03-3897-2138